

2015年度 京都大学 前期 世界史

I 19世紀後半以降の4つの戦争と清

出題範囲	近代の政治史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	30分
傾向と対策	いかに正確に情報を記憶・整理できているかが問われる問題である。世界史上の戦争については、戦争の原因と内容、周辺国の状況、講和条約、その後の影響などを正確に覚えることが重要である。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答例

アロー戦争後の天津・北京条約で、清は天津を含む開港場の増加や外国人の内地旅行の自由を認め、列強は清への経済的進出を図った。また外国公使の北京駐在が認められ、清はその対応のために総理各国事務衙門を設置し、列強と形式上対等の近代的国家間外交を受け入れた。清仏戦争後の天津条約で、清はベトナムの宗主権を放棄し、清国南部でのフランスの通商特権を認めた。日清戦争後の下関条約では、日本に通商上の特権を認め、朝鮮の独立を承認した。これにより清の朝貢国は消滅し、清中心の伝統的な冊封朝貢体制は完全に崩壊した。義和団事件後の北京議定書では、外国軍隊の北京駐屯が認められ、列強による清の半植民地化はますます加速した。

(299字)

設問の要求

字数 300字以内

主題 清がアヘン戦争以後の60年間で敗れた4回の戦争の講和条約に規定された諸外国への経済的権益の承認と、清と隣接国家との関係改変、および、その結果、清がどのような状況に陥ったのか

解説

(1)説明すべき戦争と講和条約

清がアヘン戦争以後の60年間で敗れた4回の戦争とその講和条約とは、アロー戦争（天津条約・北京条約）・清仏戦争（天津条約）・日清戦争（下関条約）・義和団事件（北京議定書）である。どれも年号を覚えておくべき戦争・講和条約である。

(2)各講和条約の内容

上記の講和条約の内容について明らかにする。この際、「諸外国への経済的権益の承認」、「清と隣接国家との関係改変」、の2つに関係する事項には下線を付した。

①アロー戦争（1856～60年）（対イギリス・フランス）：天津条約・北京条約

【天津条約の内容】

- ・開港場を増加させる
- ・アヘン貿易を公認する
- ・キリスト教布教の自由、外国人の内地旅行の自由を認める
- ・外国公使の北京駐在

【北京条約の内容】

- ・天津条約の批准
- ・天津の開港
- ・イギリスへの九竜半島南部の割譲

②清仏戦争（1884～85年）（対フランス）：天津条約

【内容】

- ・ベトナムの宗主権を放棄し、ベトナムに対するフランスの保護権を認める
- ・清国南部での通商・鉄道建設などの特権をフランスに与える

③日清戦争（1894～95年）（対日本）：下関条約

【内容】

- ・清は朝鮮が独立国であることを承認する
- ・遼東半島・台湾・澎湖諸島を日本へ割譲する
- ・2億両の賠償金の支払い
- ・日本の通商上の特権を認める

④義和団事件（1900～01年）（対列強8カ国）：北京議定書（辛丑和約）

【内容】

- ・ 外国軍隊の北京駐屯権を認める
- ・ 多額の賠償金の支払い

(3)各戦争・講和条約が清に与えた影響

次に、それぞれの戦争・講和条約の結果、「清がどのような状況に陥ったのか」を挙げる。

①天津・北京条約の結果

イギリス・フランスは、清の開港場を増加させ、外国人の内地旅行の自由を認めさせることで、**清への経済進出**を図った（それまで外国商人は、特定の開港場にしか滞在できなかったが、内地旅行の自由が認められたことで、清国内を商人が自由に移動できるようになった）。

また、外国公使の北京駐在が認められた。そのため、清王朝は対応する官庁を設ける必要が生じ、対外交渉の窓口として北京に**総理各国事務衙門**を設置した。これは従来の朝貢貿易と区別した外交事務を担当するものであった。清はそれまで、中国の皇帝に対して他国の君主が貢物を捧げ、これに対して皇帝が恩賜を与える、という伝統的な朝貢貿易の建前でしか貿易を行ってこなかった。そのため、この総理各国事務衙門の設置は、清が欧米流の近代外交、つまり**形式上対等の国家間の外交を受け入れた**ことを意味する点で革新的であった。

②天津条約の結果

ベトナムを失ったことで、残るおもな朝貢国は朝鮮だけとなり（小さな朝貢国はこの時点でほかにも存在した）、清の冊封体制はますます動揺した。

③下関条約の結果

朝鮮の宗主権を失ったことで、**清の冊封朝貢体制は完全に崩壊した**。また、日清戦争の敗北で、洋務運動の失敗が明らかとなった。

④北京議定書の結果

外国軍隊の北京の駐屯権が認められたことで、**列強による清の半植民地化が進んだ**。

（佐野来実，谷口昂輝，町田佳奈子）

2015年度 京都大学 前期 世界史

Ⅱ 中国の南北関係史/シーア派の動きの歴史

出題範囲	先史～近代の政治・文化史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	10分
傾向と対策	長文を読んで解答する問題であるが、実質的には一問一答問題と変わらない。どれも基本的な事項なので、全問正解を目指して素早く答えていこう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

解答

A

a 建康 **b** 後梁 **c** 永楽 **d** 海禁

- | | |
|---------|---------------------------|
| (1) 夏 | (2) (ア)武帝 (イ)平準法 |
| (3) 孫権 | (4) 八王の乱 |
| (5) 高句麗 | (6) (ア)靖康の変 (イ)淮河 (別解：淮水) |
| (7) 泉州 | (8) エセン＝ハン |
| (9) 曾国藩 | |

B

e メッカ **f** アリー **g** チュニジア

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| (10) 巡礼 | (11) メディナ |
| (12) ウマル | (13) フラグ |
| (14) (ア)ワッハーブ派 (イ)サウジアラビア | (15) ベルベル人 |
| (16) サラディン (別解：サラーフ＝アッディーン) | (17) (ア)ティムール朝 (イ)バーブル |
| (18) アウラングゼーブ | (19) パフレヴィー朝 |

A 難易度：★★★★☆

解答

a 建康 b 後梁 c 永楽 d 海禁

解説

- a 晋は西晋ともよばれ、265年、魏の重臣である司馬炎が帝位を奪い、洛陽を都として建国した。しかし、316年に晋は匈奴によって滅ぼされた。その際に残った司馬一族が江南地方に逃げ、司馬睿^{しばえい}によって建国されたのが東晋である。東晋は建康（もとは建業、現在の南京）を都とした。
- b 五代とよばれる5つの王朝は順に後梁、後唐、後晋、後漢、後周である。この中で、後唐以外の王朝はすべて開封に都をおき、後唐は洛陽に都をおいた。また、後晋が建国の際に契丹（遼）の援助を受けたため、契丹に燕雲十六州を割譲したことは、覚えておくべき事柄である。
- b 永楽帝は靖難の変で建文帝を倒し、明の第3代皇帝（当時は建文帝の存在が抹消されていたので、第2代皇帝）として即位した。永楽帝のもともとの本拠地は北京であり、建文帝の本拠地が南京であったので、永楽帝が北京に遷都したことは当然といえよう。
- b 洪武帝は、元代にゆるんだ朝貢関係をもとに戻すため、そして倭寇対策のために海禁政策を実施した。この海禁政策は、明代だけでなく、清代にも度々行われた。

(1) 難易度：★★★★☆

解答

夏

解説

夏王朝は近年の研究でその実在が確定したといわれる、伝説上の王朝である。だが詳細は不明である。

(2) 難易度：★★★★☆

解答

(ア)武帝 (イ)平準法

解説

- (ア) (イ)から武帝と解答できるかもしれないが、それ以外には年号しかヒントがない。武帝の在位は、B.C.141～B.C.87年である。B.C.100年を挟んだ中国の皇帝は前漢の武帝であると覚えておけば、いつか役立つかもしれない。
- (イ) 平準法と同時期に打ち出された新政策として、均輸法がある。均輸法とは、地方の特産物を、それが不足するところに安く転売することによって、物価の均等化を図ったものである。平準法と混同しないように覚えてほしい。

(3) 難易度：★★★★☆

解答

孫権

解説

三国の建国者・都・位置は混同しやすい。220 年、後漢の最後の皇帝から禅譲を受け、曹丕（曹操の息子）が洛陽を都として建国したのが魏である。221 年、劉備が成都を都として建国したのが蜀である。222 年、孫権が建業を都として建国したのが呉である。またその位置関係は、魏が北、蜀が南西、呉が南東にある。

(4) 難易度：★★★★☆

解答

八王の乱

解説

司馬炎の死後、各地の 8 人の王族が帝位をめぐって争い始めたのが八王の乱である。これは、華北地方への異民族の侵入を招くきっかけとなった。

(5) 難易度：★★★★☆

解答

高句麗

解説

隋の第 2 代皇帝である煬帝は朝鮮半島の高句麗へ 3 度にわたって遠征したが、いずれも失敗に終わった。それに加え、大運河建設で民に課された過酷な労役への不満もあったため、各地で反乱が勃発し、618 年に隋は滅亡した。

(6) 難易度：★★★★☆

解答

(ア)靖康の変 (イ)淮河 (別解：淮水)

解説

(ア) 1126 年、金は北宋の首都である開封を占拠し、27 年には皇帝である欽宗やその父の徽宗が捕らえられ、北方へ連行された。これが靖康の変である。これによって北宋は滅亡し、宋王朝の一族は南に逃げて南宋を建てた。

(イ) 淮河（淮水）は現在、黄河と長江に南北を挟まれるかたちで、東西に流れている河川である。1142 年に南宋と金の間で締結された紹興の和約では淮河が国境とされた。

(7) 難易度：★★★★☆

解答

泉州

解説

マルコ=ポーロは泉州をザイトン、杭州をキンサイと呼び、その繁栄ぶりを西洋に伝えた。また、14世紀には、イブン=バットゥータも泉州に来航し、『三大陸周遊記』の中で泉州について述べている。

(8) 難易度：★★★★☆

解答

エセン=ハン

解説

エセン=ハンはオイラト部の族長であり、土木の変で明に勝利し、皇帝である正統帝を捕らえた。

似たような名前の人物としてアルタン=ハンがいる。彼はモンゴルの王であり、モンゴルにチベット仏教やダライ=ラマの称号を導入したことで有名である。

(9) 難易度：★★★★☆

解答

曾国藩

解説

曾国藩と同じく洋務運動を推進した漢人官僚に、李鴻章がいる。彼は、太平天国の乱の鎮圧の際に淮軍を指揮した。曾国藩と混同しないようにしよう。

B 難易度：★★★★☆

解答

e メッカ f アリー g チュニジア

解説

e ムハンマドはメッカの町で生まれた。だがメッカにおいて、一神教のイスラーム教を布教する過程で、伝統的に多神教であったメッカの商人の大迫害を受け、メディナへ聖遷した。

f 正統カリフは4人いる。第1代はアブー=バクル。第2代はウマルで、ニハーヴァンドの戦いでイスラーム軍を指揮した。また、ビザンツ帝国からシリア・エジプトを奪った。第3代はウスマーン。彼の時代に、ムハンマドの教えが『コーラン』として統一され、編纂された。そして第4代がアリーである。アリーはシリア総督のムアーウィヤと政治的に対立した。

g チュニジアは、さまざまな国・王朝の支配下におかれた。カルタゴ、ヴァンダル王国、ビザンツ帝国、ファーティマ朝、ムワッヒド朝、オスマン帝国などである。地中海に面し、地政学的に重要な位置にあるためである。

(10) 難易度：★★★★☆

解答

巡礼

解説

五行における**巡礼**とは、一生に1度、12月に**カーバ神殿**に参詣することである。なお、イスラーム教徒が信じるべき6つの信条と実行すべき5つの義務を**六信五行**とよぶ。六信には、神・天使・啓典・預言者・来世・定命がある。

(11) 難易度：★★★★☆

解答

メディナ

解説

メディナは、メッカの北方約350キロにある都市である。ムハンマドがメディナに聖遷（ヒジュラ）した**622年**7月16日はイスラーム暦元年1月1日とされ、イスラーム教の出発点とされた。

(12) 難易度：★★★★☆

解答

ウマル

解説

ウマルは当初、メッカでムハンマドを激しく迫害していた。しかしのちに改宗してムスリムとなった。彼の時代に、イスラーム軍はシリアに進出してダマスカスを征服し、**ニハーヴァンドの戦い**でササン朝に勝利した。また、**イスラーム暦**も定められた。

(13) 難易度：★★★★☆

解答

フラグ

解説

フラグは**モンケ＝ハン**に命じられてイスラーム遠征を行い、**1258年**にアッバース朝を滅ぼした。彼は征服したイラン地方に**イル＝ハン国**を建設した。イル＝ハン国は第7代**ガザン＝ハン**のときにイスラーム化した。

(14) 難易度：★★★★☆

解答

(ア)ワッハーブ派 (イ)サウジアラビア

解説

(ア) 18世紀中頃、**イブン＝アブドウル＝ワッハーブ**がムハンマド時代のイスラームへの回帰を求めてイスラーム改革運動を起こした。この運動が**ワッハーブ運動**であり、その支持者は**ワッハーブ派**とよばれた。

(イ) 1744 年、イブン=アブドゥル=ワッハーブが、アラビア半島中部の豪族であるサ우드家と手を結んで建国したのがワッハーブ（サ우드）王国である。これがサウジアラビア王国の前身となった。

(15) 難易度：★★★★☆

解答

ベルベル人

解説

マグリブ地方（現在のチュニジア・アルジェリア・モロッコ）の先住民がベルベル人である。ベルベル人が建国した王朝には、ムラービト朝（1056～1147 年）、ムワッヒド朝（1130～1269 年）がある。

(16) 難易度：★★★★☆

解答

サラディン（別解：サラーフ=アッディーン）

解説

サラディン（サラーフ=アッディーン）はクルド人の武将であり、アイユーブ朝（1169～1250 年）を建国した。彼は 1187 年に聖地エルサレムを奪還し、1189 年から行われた第 3 回十字軍と戦った。

(17) 難易度：★★★★☆

解答

(ア)ティムール朝 (イ)バーブル

解説

(ア) ティムール朝は、1370 年に西チャガタイ=ハン国出身のティムールによって建国された。第 3 代シャー=ルフは都をヘラートに移し、第 4 代ウルグ=ベクはサマルカンドに天文台を建設するなど、トルコ=イスラーム文化が開花した。しかし、最終的にティムール朝はウズベク人に征服され、滅亡した。

(イ) バーブルはティムールの子孫である。1526 年、パーニーパットの戦いでロディー朝を破り、ムガル帝国を建国した。

(18) 難易度：★★★★☆

解答

アウラングゼーブ

解説

ムガル帝国第 3 代皇帝のアクバルは、ヒンドゥー教徒との融和のためにジズヤ（人頭税）を廃止した。しかし、第 6 代皇帝のアウラングゼーブは厳格なスンナ派であったため、ヒンドゥー教徒との融和政策を放棄し、ジズヤを復活させた。彼の死後、ムガル帝国の求心力は急速に失われた。

(19) 難易度：★★★★☆

解答

パフレヴィー朝

解説

1925年にレザー＝ハーンがイランに建国した王朝が**パフレヴィー朝**である。1951年に**モサデグ**が石油国有化政策を断行したが失敗し、代わって権力をもった**パフレヴィー2世**が1961年に**白色革命**を推進した。しかしこれは国民の反発を招き、**イラン革命**が勃発する原因となった。

(佐野来実, 谷口昂輝, 的場光紀)

2015年度 京都大学 前期 世界史

Ⅲ 古代ローマの軍隊・政治体制の変化

出題範囲	古代の政治・社会史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	30分
傾向と対策	300字という短い字数の中に、いかに「最も重要な変化」を入れ込むかが難しい問題である。しかし、書くべきことは基本的な古代ローマの事項であるので、重要事項を時代順に整理して覚えておこう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答例

ローマでは、貴族中心の元老院を国の最高機関とする共和政が行われていた。中小農民は重装歩兵として国の軍隊の中心を担い、その活躍で平民の地位が強化されると、ホルテンシウス法で貴族と平民の法的平等が達成された。ポエニ戦争や属州の拡大による大土地所有の発展は、中小農民の没落、重装歩兵の弱体化を招き、それらを改善すべくグラックス兄弟が改革を行ったが、失敗した。続いてマリウスが無産市民を採用する職業軍人制を導入したが、これにより軍隊は有力将軍の私兵としての性格が強まり、2度の三頭政治を招いた。最終的にオクタウィアヌスが、元老院を尊重して共和政の伝統の上に個人支配を行う、事実上の帝政である元首政を開始した。(300字)

設問の要求

字数 300字以内

主題 B.C.3世紀からB.C.1世紀にかけて生じた、ローマ国家の軍隊と政治体制の最も重要な変化

条件 指定された語句をすべて使用し、下線を引く

解説

(1) 記載事項について

今回は、ローマ国家の「軍隊」と「政治体制」の両方の変化を書くことが求められている。どちらか片方に内容が偏りすぎないようにしたい。

(2) 設問に関連する事柄とその説明

共和政ローマ

初期の共和政ローマは、300名の貴族で構成された**元老院**が最高の立法・諮問機関であった。2名の**コンスル**（執政官）が行政・軍事を担当し、その任期は1年であった。非常時には元老院の提案で任期6カ月の**ディクタトル**（独裁官）が任命された。

B.C.287年 ホルテンシウス法制定

この法が制定される以前の初期の共和政は、コンスル（執政官）やディクタトル（独裁官）などの役職を**パトリキ**（貴族）が独占し、**貴族が元老院を構成して実権を握る**という、貴族共和制であった。このため、**プレブス**（平民）の力は弱く、パトリキとプレブスは身分闘争を展開していった。ローマが対外戦争を繰り返す、**重装歩兵**として活躍していた平民の地位がどんどん強化されていくと、B.C.3世紀には、B.C.287年に**ホルテンシウス法**が制定され、**平民会の決議は元老院の承認がなくても国法となる**ことが決定された。この法により、**パトリキとプレブスの法的平等が達成された**。

B.C.264~B.C.146年 ポエニ戦争

ポエニ戦争以前のローマでは、**中小農民による重装歩兵が軍隊の中心**となっていた。ポエニ戦争の勝利で、ローマは西地中海の覇権を握り、海外に広大な領土を得て、それらを**属州**として直接統治した。しかし、**属州の奴隷や安価な穀物の流入**は、長期間にわたって従軍していたために疲弊し、さらに戦争によって土地が荒廃していたローマの中小農民の没落・無産市民化を招いた。貴族や騎士階級の身分の者は属州で被征服民を農業奴隷として酷使し、穀物や果樹栽培を行う**ラティフンディア**とよばれる大土地所有制が発達した。

B.C.133~B.C.121年 グラックス兄弟の改革

グラックス兄弟は、**中小農民の没落により重装歩兵がいなくなることを危惧**した。そこで中小農民の没落を防ぎラティフンディアの進行を止めるため、ラティフンディアにより無視されていた**リキニウス・セクスティウス法**を復活させ、貴族による土地の占有を制限して土地を無産市民に分配しようとした。しかし、閥族派の反対があつてこの改革は挫折した。

B.C.101年 マリウスがコンスルに選出される

中小農民の没落により、ローマでは**重装歩兵のシステムが維持できなくなってきた**。そこでマリウスは、**無産**

市民を志願兵として採用する**職業軍人制**を導入した。これ以降、軍隊は**有力将軍の私兵としての性格が強くなっていった。**

B.C.60～B.C.53年 第1回三頭政治

私兵を率いた有力将軍として**カエサル・ポンペイウス・クラッス**が台頭した。彼らは元老院に対抗しようと私的な同盟を結び、国政の独占をすすめた。クラッスがパルティアへの遠征で戦死し第1回三頭政治が崩壊すると、ポンペイウスとの対立に勝利したカエサルはB.C.46年に事実上の独裁者となった。しかし、共和派の**ブルートゥス**らによって暗殺された。

B.C.43～B.C.30年 第2回三頭政治

レピドゥス・アントニウス・オクタウィアヌスが権力を握り、共和政に対抗して行った政治を第2回三頭政治という。これは第1回三頭政治とは異なり正式な公職として成立したが、3人の対立によって崩壊した。B.C.31年に起こった**アクティウムの海戦**で**オクタウィアヌス**が勝利し、最終的に彼が権力を握った。

B.C.27年 オクタウィアヌスが、帝政を開始

B.C.29年、オクタウィアヌスは元老院から**プリンケプス**（元老院の第一人者、市民の第一人者）の称号を授かり、B.C.27年には**アウグストゥス**（尊厳者）の称号を授かって国の全権を掌握し、**事実上の初代ローマ皇帝**となった。彼は**元老院を尊重し、共和政の伝統の上に個人支配を行う**という**プリンキパトゥス**（元首政）を行った。

(3)必要事項

(2)の説明の中から、最低限書くべき事柄を列挙しておく。

- ① 貴族中心の元老院が国の最高機関である共和政、重装歩兵【政治体制・軍隊】
- ② ホルテンシウス法による貴族と平民の法的平等の達成【政治体制】
- ③ ポエニ戦争→中小農民没落→重装歩兵衰退【軍隊】
- ④ グラックス兄弟の改革【政治体制・（軍隊）】
- ⑤ マリウスが職業軍人制導入【政治体制・軍隊】
- ⑥ 有力将軍の台頭→三頭政治【政治体制】
- ⑦ オクタウィアヌスが元首政を開始【政治体制】

（佐野来実，谷口昂輝，的場光紀）

2015年度 京都大学 前期 世界史

Ⅳ ヨーロッパの政治・社会とさまざまな団体の歴史

出題範囲	中世～近代の政治・社会史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	20分
傾向と対策	全体的に基本的な事項の問題が多いが、たまにやや難易度の高い問題が混じっている。(22)について、世界史上の反乱は、その目的と背景までしっかりおさえよう。(23)について、帝国主義時代のアフリカにおける代表的な列強の植民地は必ず覚えておこう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

解答

- A
- (1) 十字軍の遠征により、東方貿易などの遠隔地貿易が盛んになったこと。
- (2) 毛織物業 (3) 親方
- (4) 重量有輪犁 (5) 大空位時代
- (6) 州代表の騎士（別解：都市代表の市民） (7) 金印勅書（別解：黄金文書）
- (8) 高等法院
- B
- (9) アヴィニョン
- (10) 領邦君主が領内の宗派をカトリックカルター派とするかの決定権をもつ。
- (11) 文化闘争 (12) ユトレヒト同盟
- (13) サンバルテルミの虐殺 (14) 典礼問題
- (15) ピルグリム＝ファーザーズ（別解：巡礼始祖） (16) ウィリアム3世
- (17) アルスター地方
- C
- (18) ハイチではフランス革命の影響で起きたサン＝ドマングの蜂起が独立運動に発展し、黒人奴隷がトゥサン＝ルヴェルチュールを指導者としてフランス軍を破り、黒人共和国を樹立した。

- (19) パナマをコロンビアから独立させ、パナマ運河を建設し、その後支配を続けたが、1999年にパナマ共和国へと返還した。
- (20) ハワイ (21) タバコ＝ボイコット運動
- (22) イギリス・フランスによる支配に対し、「エジプト人のためのエジプト」を掲げて立憲制の樹立などを目指した。
- (23) イギリス (24) ヨーロッパ連合（別解：EU）

A

(1) 難易度：★★★★☆

解答例

十字軍の遠征により、東方貿易などの遠隔地貿易が盛んになったこと。

設問の要求

主題 11～12世紀にイタリア都市の繁栄を促した要因

解説

11世紀に西アジア一帯を制圧して小アジアに進出したセルジューク朝は、ビザンツ帝国を圧迫した。ビザンツ皇帝アレクシオス1世はローマ教皇ウルバヌス2世に救援を要請し、ウルバヌス2世は聖地奪還を目指して十字軍の派遣を提唱した。全7回にわたる十字軍の遠征はさまざまな影響をおよぼした。この影響のうちのひとつが、11～12世紀のイタリア諸都市の繁栄である。十字軍遠征の過程で交通網が発達し、東方貿易や地中海貿易といった遠隔地貿易が盛んになった。この貿易により、ヴェネツィアやジェノヴァといったイタリア諸都市が繁栄した。

(2) 難易度：★★★★☆

解答

毛織物業

解説

ネーデルラントの西方にあるフランドル地方は毛織物の産地である。この地方をめぐるイギリスとフランスの対立は百年戦争の一因となった。

(3) 難易度：★★★★☆

解答

親方

解説

商人ギルドに対抗して成立した同職ギルド（ツunft）は、徒弟制度など厳格な規約をもった。この制度により、親方・職人・徒弟という身分秩序が形成された。この身分のうち親方だけが同職ギルドの正会員であり、技術面・人格面で絶対的な権威をもった。

(4) 難易度：★★★★☆

解答

重量有輪犁

解説

重量有輪犁とは車輪の付いた鉄製の重たくて丈夫な犁で、これを牛や馬に引かせた。これによって重い粘土質の土壌を深く耕すことが可能になった。重く方向転換の難しい重量有輪犁を有効に使うために**開放耕地制**が普及し、**三圃制**（各々の農民の耕作地をひとまとめにし、それを春耕地・秋耕地・休耕地に分けて村全体での共同作業で農作業を行う）の普及にもつながった。

(5) 難易度：★★★★☆

解答

大空位時代

解説

13世紀半ば、神聖ローマ帝国では複数の皇帝が擁立されるなどして、実質的な皇帝がいない混乱の時代である**大空位時代**を迎えた。大空位時代のような混乱を防ぐため、皇帝カール4世は**1356年**に**金印勅書**を発布した。

(6) 難易度：★★★★☆

解答

州代表の騎士（別解：都市代表の市民）

解説

プランタジネット朝のエドワード1世は、1295年に対外遠征費調達のために**模範議会**を開催した。模範議会は貴族・聖職者のほかに**州代表の騎士**2人、**都市代表の市民**2人で構成される身分制議会であった。1343年のエドワード3世の治世に、イギリスの議会は**上院（貴族院）**・**下院（庶民院）**の**二院制議会**となった。

(7) 難易度：★★★★☆

解答

金印勅書（別解：黄金文書）

解説

神聖ローマ皇帝のカール4世は、13世紀半ばに始まる大空位時代のような混乱の再発を防ぐため、**1356年**に**金印勅書**を発布した。これは、皇帝選出権を**七選帝侯**（マインツ・トリール・ケルンの三大司教とベーメン王、ブランデンブルク辺境伯、ザクセン公、ファルツ伯）がもつことを承認した文書であった。

(8) 難易度：★★★★☆

解答

高等法院

解説

高等法院（フランスの最高司法機関）が拠点となった有名な貴族の抵抗に、1648年に起こった**フロンドの乱**

が挙げられる。これは、ルイ 14 世の王権の強化に反対する高等法院を中心とした貴族による反乱であったが、宰相マザランが内部分裂を利用して鎮圧した。

B

(9) 難易度：★★★★☆

解答

アヴィニヨン

解説

アヴィニオンはフランスの南東部に位置する都市である。1303 年のアナーニ事件で教皇ボニファティウス 8 世が憤死したあと、フランス王フィリップ 4 世は教皇庁をアヴィニオンに移させた。これを教皇のバビロン捕囚という。

(10) 難易度：★★★★☆

解答例

領邦君主が領内の宗派をカトリックかルター派とするかの決定権をもつ。

設問の要求

主題 領邦教会制がどういうものか

解説

1555 年のアウクスブルクの宗教和議ではルター派が神聖ローマ帝国から認められるようになったものの、個人に信仰の自由がない、またカルヴァン派は認められないという 2 つの問題点を含んでいた。

(11) 難易度：★★★★☆

解答

文化闘争

解説

ビスマルクは、ドイツの内政において、威圧策と懐柔策を巧みに利用した。威圧策としては文化闘争や社会主義者鎮圧法の制定が挙げられ、懐柔策としては保護関税法の制定や数々の社会政策（災害保険法、疾病保険制度など）の制定が挙げられる。

(12) 難易度：★★★★☆

解答

ユトレヒト同盟

解説

オランダ独立戦争は、1568～1609 年にネーデルラント（現在のオランダ・ベルギーを中心とするバルト海沿岸の地域）の新教徒たちが、スペインのカトリック推進政策に対抗して起こった戦争である。戦争中の 1579 年に、ネーデルラントの中の南部 10 州は比較のカトリックが多いという理由で独立戦争から離脱した。これに対して北部 7 州は独立戦争の継続を掲げ、ユトレヒト同盟を結成して団結を誓った。1581 年、北部 7 州はネーデ

ルラント連邦共和国の独立を宣言し、1609年にはオランダ独立戦争の休戦条約が締結され、スペインはオランダの独立を事実上承認した。1648年には、**ウェストファリア条約**でオランダの独立が国際的に承認された。

ちなみに、似た名前の世界史用語として**ユトレヒト条約**がある。これは、1713年にフランス・スペインとイギリスなどの間で締結された、**スペイン継承戦争**と**アン女王戦争**の講和条約である。

(13) 難易度：★★★★☆

解答

サンバルテルミの虐殺

解説

サンバルテルミの虐殺は、ヴァロワ朝国王シャルル9世の妹（旧教）と、ブルボン家のアンリ（のちのアンリ4世、新教）との結婚式を祝うために集まった新教徒を旧教徒が襲い、大量虐殺を行った事件。この事件は、シャルル9世の母親カトリーヌ＝ド＝メディシスの陰謀であったとされる。

(14) 難易度：★★★★☆

解答

典礼問題

解説

典礼問題は、中国においてイエズス会の宣教師が孔子崇拝や祖先祭祀を認めながら布教を行っていることについて、フランチェスコ修道会などから訴えられたローマ教皇が、イエズス会の布教方法を否定した問題。これに対して、康熙帝はイエズス会以外の中国内布教を認めない、雍正帝はキリスト教の全面的な布教禁止、という対応策をとった。

(15) 難易度：★★★★☆

解答

ピルグリム＝ファーザーズ（別解：巡礼始祖）

解説

ピルグリム＝ファーザーズ（**巡礼始祖**）は、イギリス国教会を強制するステュアート朝の**ジェームズ1世**の弾圧から逃れてアメリカのプリマスに上陸した、**ピューリタン**（カルヴァン派）である。

(16) 難易度：★★★★☆

解答

ウィリアム3世

解説

1688年の**名誉革命**によって**ジェームズ2世**は追放され、1689年に**ウィリアム3世**とメアリ2世が共同統治者としてイギリス新国王に即位した。この戦いについて覚えておく必要はないが、「1689年」「前王のジェームズ2世」という単語からウィリアム3世を推測しよう。

(17) 難易度：★★★★☆

解答

アルスター地方

解説

アルスター地方は現在イギリス領土であり、多数派のプロテスタントと少数派のカトリックが対立している。カトリック勢力はアイルランド（カトリック国）との合併を目指して 1970～80 年代に激しい武力攻撃などを行っており、いったん和平は成立したものの、今も問題はくすぶっている。

C

(18) 難易度：★★★★☆

解答例

ハイチではフランス革命の影響で起きたサン＝ドマングの蜂起が独立運動に発展し、黒人奴隷がトゥサン＝ルヴェルチュールを指導者としてフランス軍を破り、黒人共和国を樹立した。

設問の要求

主題 カリブ海で 19 世紀初めに生まれた黒人共和国の成立の経緯

解説

ファルツ継承戦争・ウィリアム王戦争の講和条約として 1697 年に結ばれたライスウィク条約の結果、ハイチは正式にスペイン領からフランス領になった。ハイチでは、被支配者層でありプランテーションの労働力となっていた黒人やムラートは支配者層の白人に対して不満を抱いていた。フランス革命が起こるとハイチでも自由を求める声が強まり、1791 年にサン＝ドマングの蜂起が起こった。トゥサン＝ルヴェルチュールは独立の指導者として活躍し、1804 年にハイチは初の黒人共和国としてフランスから独立を果たした。

(19) 難易度：★★★★☆

解答例

パナマをコロンビアから独立させ、パナマ運河を建設し、その後支配を続けたが、1999 年にパナマ共和国へと返還した。

設問の要求

主題 アメリカが 20 世紀にパナマ運河に対してどのような関係をもったか

解説

共和党出身で帝国主義政策を推進したアメリカのセオドア＝ローズヴェルト大統領は、1903 年にパナマをコロンビアから独立させて強い影響下においた。そして翌年には、パナマ運河の建設を開始した。ウィルソン政権下の 1914 年にパナマ運河は開通した。以後アメリカの軍事施設が置かれていたが、1999 年にパナマ運河はパナマ共和国へと返還された。

(20) 難易度：★★★★☆

解答

ハワイ

解説

マッキンリー政権下のアメリカは、リリウオカラニ女王統治下の**ハワイ**を併合した。なお、アメリカが米西戦争の結果獲得したスペインの植民地は、フィリピン・プエルトリコ・グアムである。

(21) 難易度：★★★★☆

解答

タバコ＝ボイコット運動

解説

タバコ＝ボイコット運動は、カージャール朝政府がイギリス商人にタバコの生産・販売の独占権を与えたことに、ウラマー・商人・民衆が抗議した運動である。**アフガーニー**が影響を与えた運動として、ほかに**ウラービー＝パシャの乱**などがある。

(22) 難易度：★★★★☆

解答例

イギリス・フランスによる支配に対し、「エジプト人のためのエジプト」を掲げて立憲制の樹立などを目指した。

設問の要求

主題 ウラービーの運動は、エジプトのどのような現状を批判し、何を目指したものであったか

解説

ウラービーは、イギリス・フランスの財政管理下におかれて内政の支配をも受けるようになったエジプトの現状に反対して、1881年に反乱を起こした。憲法の制定や議会の開設といった立憲制の樹立を目指したが、単独出兵したイギリスにより鎮圧され、以後エジプトはイギリスの保護国に置かれることとなった。なお、このときフランスはチュニジア出兵中であったため、反乱を鎮圧する軍を派遣することができなかった。

(23) 難易度：★★★★☆

解答

イギリス

解説

1957年、ガーナは**イギリス**連邦内の最初の黒人国家として独立した。独立の指導者は、**パン＝アフリカニズム**運動を推進した**エンクルマ**であった。アフリカにおけるイギリスの植民地として、エジプト・スーダン・南アフリカ共和国・ローデシア（現在のジンバブエ・ザンビア）・ガーナ・ソマリランドなどが挙げられる。

(24) 難易度：★★★★☆

解答

ヨーロッパ連合（別解：EU）

解説

アフリカ統一機構（OAU）はアフリカ連合（AU）に改変された。この際にモデルとされたのがヨーロッパ連合（EU）で、アフリカ大陸において政治的・経済的統合の促進や、域内の平和と秩序の維持を目的に設立された。

（佐野来実，谷口昂輝，的場光紀）